

SNSで防災発信



作成したPRステッカーを見せる生徒ら＝1日、奈良市油阪町のホテルアジュール奈良

奈良女子高生
奈教大学生ら

PRステッカー

奈良を訪れる観光客や市民に防災や減災への意識を高めてもらうと、奈良女子高校(奈良市三条宮前町)の生徒と奈良教育大学ユネスコクラブの学生がタッグを組み、インスタグラムで

対策を発信している。1日には、活動に賛同するホテルアジュール奈良(奈良市油阪町)のロビーに、インスタグラムのPRステッカーが設置された。インスタグラムのアカウ

ント名は「奈良ならSDGs」(nara_sds)。テーマは「万一の地震に備え、市民や観光客はどうしたらいいのか」。同高2年生が昨年「防災、減災」の探究学習でSDGsに取り組み中で、「奈良は大仏様がいるから大丈夫」などと話す市民の存在や、「外国人が避難場所まで行けるのか」など、疑問が生じた。その解決策として、街角に

ある消火栓や消火器の使い方、JR奈良駅や近鉄奈良駅から外国人観光客が指定避難場所まで行く方法などを動画やポスターで発信することを決めた。

奈良教育大学4年で、同大ユネスコクラブの苗代昇(21)は「SNSの運営や、高校生の学びのサポートをした。発信方法を一緒に悩み、ステッカーの設置まで活動が広がらうらしい」と手応え。

奈良女子高2年の浅井宥佳さん(17)は「伝え方が難しかったが、感想をもらえた時はうれしかった」、同校2年の藤原摩耶さん(16)は「住んでいるのに知らないこともあった。ぜひ、インスタグラムをチェックしてください」とそれぞれ話した。